



## 第62期 中間報告書

平成27年7月1日～平成27年12月31日

画：ブライアン・ウィリアムズ／「金勝芽吹く」 曲面絵画



**SANTO**  
株式会社 三東工業社



## 株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご支援、ご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、当社第62期第2四半期累計期間(平成27年7月1日から平成27年12月31日まで)の事業活動が終了いたしましたので、当中間期の業績、経営施策および今後の取り組みについてご報告させていただきます。

みなさまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成28年3月

株式会社 三東工業社  
代表取締役社長 奥田 克実

### 当中間期の業績は?

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の各種政策の効果もあって緩やかな回復基調が続いております。

一方、建設業界につきましては、民間部門では堅調な企業収益を背景とした設備投資の拡大や住宅投資の持ち直しなど積極的な動きがありますが、公共投資では前向きな動きがみられるものの力強さを欠いており、総じて先行きは不透明であります。

このような経済状況下、当社は現場力の強化、経費削減およびリスク管理の強化を重点的に取り組み、競争力を高める努力をしてまいりました。

この結果、当中間期の業績は、下記「第2四半期累計期間財務ハイライト」のとおりとなりました。

### 当中間期の経営施策は?

建設業界におきましては、経済環境の変化による急激な資材や人件費の高騰のため、受注時の積算価格と実際に要した工事原価との間に大きな乖離

### ■ 第2四半期累計期間財務ハイライト



が生じるおそれがあります。そこで当社では、受注時において将来の環境を見越した精緻な積算を図るとともに、積極的な提案を行うことなどにより、利益率の高い案件の受注獲得に傾注しております。さらに、工事施工時における原価低減の徹底も図っております。

また、当中間期におきましては3~4ページで紹介しておりますとおり、土木部門で各種工事の完成、施工をし、また建築部門では各社自動車販売店様の店舗建築にも傾注してまいりました。

## 今後の取り組みは?

通期の見通しにつきましては、下半期におきましては公共工事の減少など需要停滞の影響はあるものの、引き続き建設需要は堅調に推移するものと予測されます。しかしながら、建設資材におきましては原材料安や需給緩和により高騰に歯止めがかかりつつあるものの、建設従事者の人手不足は深刻であり、引き続き厳しい経営環境が継続するものと思われます。また、上半期に想定しておりました多数の

公共工事の発注案件が下半期にずれ込んでおり、これらの案件の受注獲得に傾注してまいります。

このような状況の中で、当社は引き続き現場力の強化を図り、経費削減に取り組みます。また、事業遂行上において想定される様々なリスク発生の可能性について十分に認識するとともに、その回避に注力し、的確な策を講じてまいります。

当社はプロフェッショナル集団であると自覚しており、そうあり続けるために互いに切磋琢磨し、結果を求められる仕事に対して責任を負える体制を構築しております。さらに、この体制を維持すべく新しい人材の採用・育成に傾注し、永続的なプロフェッショナル集団体制を構築してまいります。

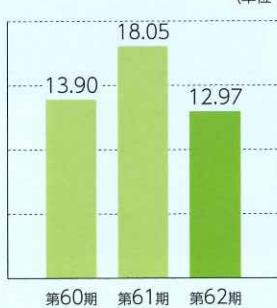
利益配分につきましては、業績に応じた配分を基本とし、株主のみなさまへの安定的な利益還元と経営体質の強化を重要な経営方針の一つとして位置づけ、今後の事業展開などを勘案して決定することとしております。

当期末の配当金につきましては、1株につき4円の配当を予想し、業績予想の必達に全社一丸となつて邁進してまいります。

1株当たり四半期純利益

12.97円

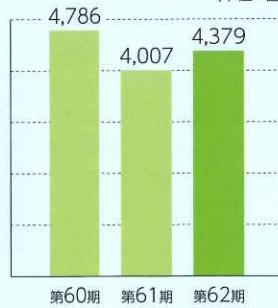
(単位：円)



総資産

4,379百万円

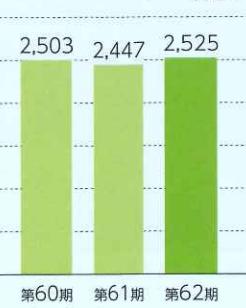
(単位：百万円)



純資産

2,525百万円

(単位：百万円)





## 工事紹介

### 【土木部門完工工事】葉山川雨水幹線整備工事

発注者：栗東市建設部地域まちづくり課 工期：平成26年6月～平成27年8月

この工事は栗東市市道の拡幅に伴い、市道沿いの既設水路を取り壊して掘削し、プレキャストボックスカルバート（工場で製作されたコンクリートの函体）を布設した後、埋め戻すという工事です。簡単にいうとそれなりますが、工事中には多くの問題が起きました。まさに水との戦いとなりました。

最初に、すでに他業者で先行着手していた仮排水路のオーバーフローが起きました。それをきっかけに様々な計画変更や、設計変更を発注者に提案する必要が発生しました。工事中には降雨により据付途中のボックスカルバートが水没してしまうという事態も何度もあり、また、地形上仮排水路が設置できないため、大型ポンプによる排水を行いましたが、その目詰まり防止のため、23日間毎日、胸長履きによるスクリーンのごみ掃除を日課としたこともあります。



一方、最終スパンの合流枠設置には、東海道新幹線近接作業風景

東海道新幹線に近接した作業（写真）となったため、安全面でも細心の注意を払いました。このように様々な問題・難問がありました。しかし工事は完成し、工事隣接地でありその整備工事でお世話になった積水化学工業様とも良好な関係を保つことができ、大変感謝いたしております。

今年の春には東海道新幹線の高架下を横断する新しい道が開通する予定ですが、もし道を通られることがありましたら、その下では、我々が苦労して工事を行なったボックスカルバートの水路の中で静かに水が流れていることを思い出していただけましたら幸いです。



右：監理技術者：土木工事部次長 生田 周作  
左：現場代理人：土木工事部地下技術グループ長 西村 和樹

### 【建築部門完工工事】トヨタカローラ滋賀 栗東店 新築工事

発注者：トヨタカローラ滋賀株式会社 工期：平成27年6月8日～平成27年10月10日

トヨタカローラ滋賀栗東店の整備工場、ショールームの建築をさせていただきました。

自動車会社様については、どのような店舗についても立地条件として交通量の多い道路に面しているということが共通しています。今回も国道8号線の交通量が多く、また渋滞も発生する場所での施工であったため、第三者への安全対策に細心の注意を払いました。また、工事の都合上、資材搬入不可、近辺作業も不可という時期が発生し、厳しい工期の中で、綿密な搬入計画とそれに伴う工程管理が大きなポイントとなりました。

このように様々な問題はありましたがすべてクリアし、予定通り明るくおしゃれな店舗を完成させることができ、大変うれしく思います。



現場代理人：建築工事部工事長 竹口 恵一





## トピックス

### 現場見学会を開催しました

工事名：琵琶湖流域下水道東北部愛東東幹線中岸本工区管渠工事

工期：平成26年12月29日～平成28年1月31日(工期変更の予定)

発注者：滋賀県北部流域下水道事務所

現場代理人：土木工事部主任 小林 浩二

工事名：滋賀竜王工業団地4工区配水管工事

工期：平成27年3月24日～平成28年4月28日

発注者：滋賀県企業庁

現場代理人：土木工事部主任 森 勝章

平成27年11月に当社施工中の土木工事2現場において現場近隣の小学生を招き、現場見学会と環境学習会を行いました。

この見学会は、それぞれの発注者にも参加いただきて、子供たちが自分の住む町で行われている工事の内容を知る機会を提供し、また、建設機械や資材を身近に見たり触れたりする経験をもってもらおうと計画したものです。見学会では同時にCESA(Construction Eco Spirit Association)のスタッフにより、湖国に住む私たち滋賀県民にとって密接な関係のある、水に関する環境学習も行いました。

当日は普段見る機会のない下水道管を間近で見たり触れたり、また、建設機械に乗り込んだりと、子供たちは興味津々、瞳を輝かせて見学会を楽しんでくれました。

「ふだんは地中にある管に触れてみよう」というコーナーでは、やっと体が入るくらいの細い管にも子供たちがもぐりこんで大はしゃぎをするという、大人には考えつかないようなほほえましい場面もありました。また「下水道管に好きなことを書いて」とクレヨンを手渡したのですが、子供たちが書いたメッセージは「けがをしないでがんばって」という、現場スタッフへの優しさあふれるものでした。その管は数日後地中に埋設され目にふれることはありますが、子供たちの優しい気持ちはいつまでも私たちの心に残ることと思います。

この見学会は地元へのCSR活動として計画した事業で、子供たち、引率の先生方に楽しんでいただけたことはもちろんですが、私たちも子供たちの元気さにエネルギーをいただき、その優しい気持ちに勇気づけられ、大変有意義なものとなりました。

今後もこのような企画を続けて、地域の多くのみなさまに、建設業についてより深い知識と理解を得る機会をつくっていきたいと考えております。



見学参加者、スタッフと小林主任(左端)



見学参加者、スタッフと森主任(左端)



## 財務諸表

### 四半期貸借対照表(要約)

(単位:千円)

科目	当第2四半期 平成27年12月31日現在	前第2四半期 平成26年12月31日現在
[ 資産の部 ]		
流動資産	3,475,751	3,041,422
固定資産	904,205	965,696
有形固定資産	676,932	733,011
無形固定資産	30,879	30,200
投資その他の資産	196,393	202,483
資産合計	4,379,956	4,007,118

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てております。

科目	当第2四半期 平成27年12月31日現在	前第2四半期 平成26年12月31日現在
[ 負債の部 ]		
流动負債	1,795,814	1,496,606
固定負債	58,676	62,718
負債合計	1,854,490	1,559,324
[ 純資産の部 ]		
株主資本	2,482,092	2,408,516
資本金	849,500	849,500
資本剰余金	625,900	625,900
利益剰余金	1,007,195	933,618
自己株式	△502	△502
評価・換算差額等	43,373	39,278
純資産合計	2,525,465	2,447,794
負債及び純資産合計	4,379,956	4,007,118

### 四半期損益計算書(要約)

(単位:千円)

科目	当第2四半期累計 平成27年7月1日から 平成27年12月31日まで	前第2四半期累計 平成26年7月1日から 平成26年12月31日まで
売上高	2,663,804	2,624,971
売上原価	2,424,815	2,367,744
売上総利益	238,989	257,227
販売費及び一般管理費	139,657	119,435
営業利益	99,331	137,791
経常利益	98,970	137,944
四半期純利益	88,912	123,739

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てております。

### 四半期キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:千円)

科目	当第2四半期累計 平成27年7月1日から 平成27年12月31日まで	前第2四半期累計 平成26年7月1日から 平成26年12月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	265,938	△164,006
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,775	1,141
財務活動による キャッシュ・フロー	564,637	370,936
現金及び現金同等物 の増減額	826,800	208,070
現金及び現金同等物 の期首残高	861,879	916,629
現金及び現金同等物 の四半期末残高	1,688,680	1,124,700

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てております。

## 当社ホームページの ご紹介

当社のホームページは、ご覧いただきましたでしょうか？株主・投資家のみなさまに対して、企業情報や財務情報についての積極的な情報公開を随時行っております。また、みなさまからのご意見もお待ちしております。



<http://www.santo.co.jp>

## 株主メモ

事 業 年 度 毎年7月1日から翌年6月30日まで

定 時 株 主 総 会 每年9月

基 準 日 定時株主総会 每年6月30日

期末配当 每年6月30日

中間配当を行う場合 12月31日

その他必要ある場合はあらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人および 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

株 主 名 簿 管 理 人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号

事 務 取 扱 場 所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵 便 物 送 付 先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電 話 照 会 先 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

イ ン タ ー ネ ็ ツ ホ ー ム ペ ー ジ URL <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公 告 揭 載 新 聞 日本経済新聞

上場金融商品取引所 東京証券取引所

### ◆◆◆◆◆ 株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会 ◆◆◆◆◆

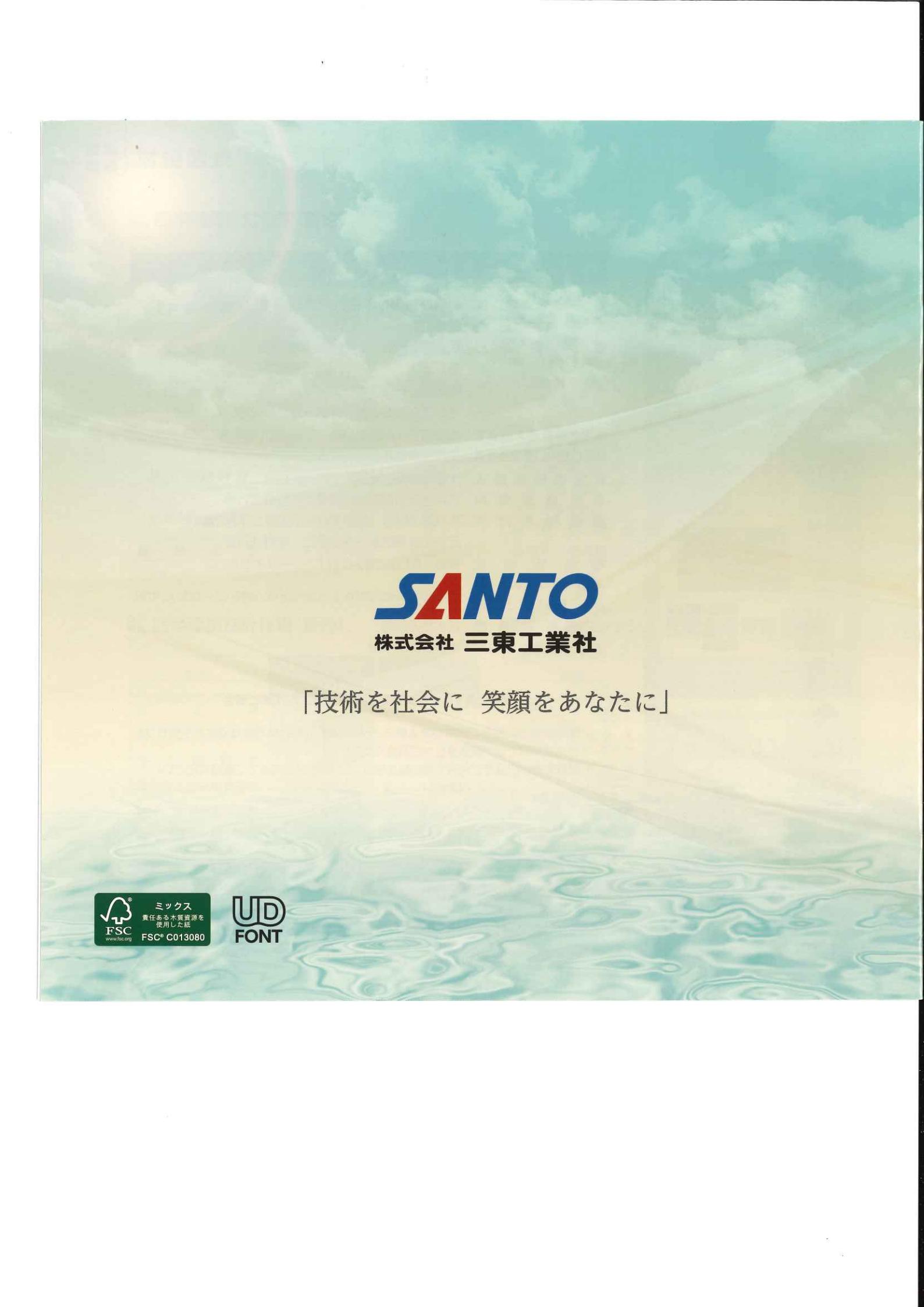
証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

### ▣ 表紙絵画について ▣

今回の表紙はブライアン・ウィリアムズ氏による「金勝芽吹く」という作品です。

当社の本社所在地である栗東市の金勝山にそびえる奇岩「天狗岩」が大きく描かれ、その向こうに栗東市内、さらには琵琶湖、比叡山や比良山系を望む迫力のある作品です。春の息吹を感じる作品をどうぞお楽しみください。



**SANTO**

株式会社 三東工業社

「技術を社会に 笑顔をあなたに」

